

災害に強い豊川市をつくるために

(豊川市地域強靱化計画 子ども向け概要版)

豊川市でおきる災害にはなにがある？

わたしたちの住む日本では、**毎年のようにいろいろな災害**が各地でおきています。豊川市でも、地震・津波・大雨・洪水・土砂災害などがおきる心配があります。

■ 地震・津波



南海トラフ地震が最も大きな規模でおけると、豊川市では標高の低い地域のほとんどで、**震度6強以上の揺れ**におそわれ、家がたおれたり火事がおきたりします。また、**最大で3.5mの津波**や、地震の揺れで地面がドロドロになる「**液状化**」もおきるとされています。

■ 豪雨・洪水・高潮



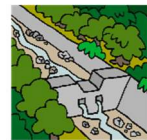
台風や豪雨によって、川の水の量が増えて**洪水**がおきたり、雨水が地面にあふれて**家や建物が水につかる**被害が発生します。また、台風ときには高潮が発生することもあり、海に近い地域に**海水が押しよせて**、同じように家や建物が水につかります。

■ 土砂災害



たくさんの雨が降ると、水がしみこんだ地面がゆるくなり、**地すべり**や**がけくずれ**などの土砂災害がおきやすくなります。令和5年6月の大雨では、豊川市内でも土砂災害がおきており、それによって2軒の家が大きくこわれています。

■ 異常渇水



雨が降らないことで水が足りなくなり、水が使えなくなってしまう**渇水(かつすい)**が、全国のいろいろなところで毎年のようにおきています。

■ その他



その他、豊川市では、車や建物がこわれるほど**強い突風**や**竜巻**などもおきています。

災害で、こんな困ったことがおきる

大きな災害がおきると、市内のいろいろな場所で、**困ったことがたくさんおきます**。みなさんの命や体、家がだいじょうぶでも、電気や水道が止まるなど、普段と同じ生活ができなくなったり、学校が使えなくなったりします。

《大きな地震によっておきる、いろいろな被害の例》



道路が通れない



学校が使えない



火災がおきる



家がたおれる



ライフラインが使えない



津波におそわれる

災害にあっても困らないための、豊川市を強くするとりくみ

「豊川市地域強靱化計画」では、災害によっておきるいろいろな被害や困りごとをまとめ、そうならないための、豊川市を強くするとりくみを考えています。みんなでいっしょに、災害に負けない豊川市をつくっていきましょう。

1. 災害によって命を落とすことを防ぎます

おきてはならないこと	おもな豊川市のとりくみ
地震によって建物がこわれたり、倒れたりする	<ul style="list-style-type: none"> ● 地震でこわれにくい、強い家をふやします。 ● 家具が倒れないようにしたり、ガラスが割れないようにします。
大きな火災がおきる	<ul style="list-style-type: none"> ● 消火のための水が、いろいろなところで使えるようにします。
大きな津波がおきる	<ul style="list-style-type: none"> ● 津波から避難するための施設をつくり、津波が来るまでにみんなが避難できるようにします。
高潮や洪水によってまちが浸水する	<ul style="list-style-type: none"> ● ハザードマップなどを使って、市民のみなさんの防災意識を高めていきます。
地すべりやがけ崩れなどの土砂災害がおきる	<ul style="list-style-type: none"> ● 安全な土地で生活するようにします。

2. 災害がおきても、みんなが生活を続けられるようにします

おきてはならないこと	おもな豊川市のとりくみ
自衛隊、警察、消防、海上保安庁などの活動ができない	<ul style="list-style-type: none"> ● 消防団員をふやし、地域での消火活動や救助活動ができるようにします。
病院や福祉施設が仕事を続けられなくなる	<ul style="list-style-type: none"> ● 病院や福祉施設が仕事を続けられるように、電源や燃料を前もって確保します。
災害によって体調が悪くなり、多くの人が避難生活中に命を落とす	<ul style="list-style-type: none"> ● 体を清潔に保つための用品や、簡易ベッドなどをあらかじめ用意しておき、避難所での生活にも困らないようにします。
食べ物や飲み水がなくなる	<ul style="list-style-type: none"> ● スーパーマーケットや食品会社などに協力してもらい、食べ物などが手に入るようにします。
大勢の人が家に帰ることができなくなる	<ul style="list-style-type: none"> ● 家に帰れなくなった人が、しばらくの間、安全にすごせる場所をつくります。
助けに行けない地域が発生する	<ul style="list-style-type: none"> ● 助けに行けなくなる地域がどこにあるかを調べ、災害時にどうすればよいか考えておきます。
大きな災害と病気の流行が同時におきる	<ul style="list-style-type: none"> ● 災害が発生した後でも、きちんと病気の治療が受けられるようなしくみをつくります。

3. 災害がおきても、みんなのためのまちの仕事が止まらないようにします

おきてはならないこと	おもな豊川市のとりくみ
警察の仕事ができなくなり、安心してくらしにくくなる	<ul style="list-style-type: none"> ● 防犯灯や防犯カメラを増やしたり、地域の防犯のとりくみに対して手助けをしたりします。
市役所などの仕事ができなくなってしまう	<ul style="list-style-type: none"> ● 豊川市だけでは仕事ができない場合にも、他の市や町に助けてもらえるしくみをつくります。

4. 地域の産業へのダメージをできるかぎりへらします

おきてはならないこと	おもな豊川市のとりくみ
企業の仕事が終わってしまう	<ul style="list-style-type: none"> ● 企業が仕事を続けられるよう、アドバイスをします。
火やガスを扱う工場で火災や爆発がおきる	<ul style="list-style-type: none"> ● 災害に強い工場にするための対策を行います。
生きるために必要な食料が届かなくなる	<ul style="list-style-type: none"> ● 食品会社などお互いに協力できるようなしくみをつくります。
生活やものづくりに必要な水が不足する	<ul style="list-style-type: none"> ● 飲料水を確保するために、他の自治体や会社などと協力のしくみをつくります。
農地や森林が荒れ、それらの持つ機能が発揮できなくなる	<ul style="list-style-type: none"> ● 普段から農地や森林を守り、活用するためのとりくみを行います。

5. ライフラインの被害を防ぎ、災害で止まっても早く使えるようにします

おきてはならないこと	おもな豊川市のとりくみ
電話やインターネットが使えず、必要な情報が届かない	<ul style="list-style-type: none"> ● 災害がおきても電話やインターネットが使えるよう、施設を災害に強くします。
電気や通信が止まる	<ul style="list-style-type: none"> ● 電気や通信を早く復旧できるよう、電力会社や通信会社などお互いに協力できるようなしくみをつくります。
ガスや石油の供給が止まる	<ul style="list-style-type: none"> ● 防災訓練を行い、災害がおきたときの対応や計画を見直し、よりよい体制をつくります。
水道や下水道が使えなくなる	<ul style="list-style-type: none"> ● 水道施設をつくったり、改良するときに、地震によって被害を受けないような対策をいっしょに行います。
道路や鉄道が使えなくなり、人や荷物が移動できない	<ul style="list-style-type: none"> ● 災害がおきても通れなくなるような、特に大事な道路や鉄道については、がんじょうにします。

6. 災害がおきても、一日も早く元の生活ができる強いまちにします

おきてはならないこと	おもな豊川市のとりくみ
災害から立ち直れなくなる	<ul style="list-style-type: none"> ● 災害がおきる前から、災害から立ち直るための計画をつくり、まちを元に戻す準備を進めます。
まちを元に戻すのに必要な人が足りない	<ul style="list-style-type: none"> ● 災害時にボランティアの受け入れがスムーズに行えるようにします。
災害で出たごみのかたづけが遅れ、元の生活に早く戻れない	<ul style="list-style-type: none"> ● ごみをかたづけるための施設や設備を、災害にあってもこわれにくいように強くします。
仮設住宅などを建てるための土地が足りない	<ul style="list-style-type: none"> ● 仮設住宅などを建てるための土地を、普段から準備しておきます。
浸水によって、復興がすすまない	<ul style="list-style-type: none"> ● 浸水の被害を小さくするためのとりくみを行います。
大切な文化財を失ったりすることで地域の文化が失われる	<ul style="list-style-type: none"> ● 文化財について、消火栓などの防災設備を置いたり、地震の揺れに強くするための修理を行います。
デマやまちがたうわさにより、ものが売れなくなる	<ul style="list-style-type: none"> ● まちがたうわさを防止するための、正しい情報発信を行います。

発行年月：令和8年3月

発行・編集：豊川市危機管理課 〒442-8601 豊川市諏訪1丁目1番地

TEL:0533-89-2194 FAX:0533-89-2655